

平成28年9月2日

各 位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

サイバーダイン社との業務提携について — サイバニクスと保険の協働による健康で豊かな社会づくりへの貢献 —

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔、以下「当社」）は、人々の健康で豊かな社会づくりへの貢献を目的に、CYBERDYNE株式会社（社長：山海 嘉之、以下「サイバーダイン社」）と業務提携契約を締結いたしました。

本提携のなかで、当社は、当局の認可を前提として、サイバーダイン社が開発・提供するロボットスーツ「HAL[®] 医療用下肢タイプ（以下「医療用HAL[®]」）[後述]を用いた特定の疾病治療に対し、受療者の治療費用負担軽減のための新たな保険商品の開発を目指します。

本取り組みは、当社の医療保障保険の魅力向上とともに、「医療用HAL[®]」による先進的な難病治療の普及・浸透の促進を通じて、難病患者の方々の支援の一助になると考えています。

また、サイバーダイン社は、独自の「サイバニクス(*)」技術を駆使した各種製品・サービスの提供を通じ、『重介護ゼロ[®]社会』を目指しており、保険商品や健康関連サービスを提供する当社とは、多くの事業領域において共通の経営理念を有しています。今後、両社の幅広い事業分野でサイバニクスと保険の協働によるシナジーを発揮し、人々の健康で豊かな社会づくりに貢献してまいります。

(*) サイバニクス：サイバネティクス、メカトロニクス、インフォマティクスを中心に、脳・神経科学、IT（情報技術）、ロボット工学、心理学、法学、倫理、経営などを融合複合した新しい学術領域で、筑波大学 山海嘉之教授（サイバーダイン社社長）が創成。

以 上

サイバーダインの概要



サイバーダインは、平成16年に筑波大学発ベンチャーとして設立されて以来、社会が直面する様々な課題を新学術領域【サイバニクス】を駆使した革新的技術によって解決することを目指し、研究開発から社会実装に至るまで一貫して推進しています。「科学技術は人や社会の役に立ってこそ意義がある」との理念で、革新技術の研究開発、新産業創成、未来開拓型の人材育成を同時展開しながら、医療・福祉・生活分野（オフィスや工場などの職場を含む）に焦点をあてた『人支援産業の創出』に取り組んでいます。



サイバーダイン社本社（つくば市）

[提携先の概要]

名 称	CYBERDYNE株式会社（マザーズ、証券コード7779）
所 在 地	茨城県つくば市学園南2丁目2番地1
代 表 者	山海 嘉之 氏（さんかい よしゆき）
設 立	平成16年6月24日
資 本 金	267億43百万円
従 業 員 数	単体114名（平成28年3月期）
事 業 内 容	1) 脳・神経・筋系疾患の患者への機能改善・機能再生治療サービスの提供、ロボット医療機器の研究開発・製造・販売 2) 高齢者や障がい者へのトレーニングサービスの提供、生活支援ロボット（パーソナルケアロボット）の研究開発・製造・販売 3) 災害現場でのレスキュー活動を支援する災害対策ロボットや手のひらサイズで動脈硬化度や心電図を計測するバイタルセンサーの研究開発 など
U R L	http://www.cyberdyne.jp/

医療用HAL[®]について

サイバニクスを駆使した「ロボットスーツHAL[®]」(Hybrid Assistive Limb)は、身体機能を改善・補助・拡張・再生する世界初のサイボーグ型ロボットです。医療用HAL[®]は、昨年11月に神経・筋難病疾患患者を対象に新医療機器として製造販売承認を取得し、本年4月に医療用HAL[®]を利用した神経・筋難病疾患患者のロボット治療に対する世界で初めて公的医療保険の償還価格が決定しました。なお、本日より、公的医療保険による医療用HAL[®]の保険治療が開始されています。



医療用HAL[®]